

平成27年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

特許活用優良企業

国立大学法人東北大学

総長 里見 進

大学概要

- 所在地 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
- 設立 1907年6月
- 教職員 6,379人(2014年5月1日現在)
- 使命・目標 建学以来の「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念、及び「実学尊重」の精神のもと、研究センター大学としてあらゆる領域の教育・研究を推進し、世界と地域に貢献する

受賞のポイント

- 大学における国内特許出願件数、出願公開件数、特許登録件数は、東北大学が1位(2013年)。企業からの共同研究や国等からの受託研究事業を獲得し、知的財産や秘密情報を適切に管理。
- 「里見ビジョン」、「産学官連携ポリシー」、「知的財産ポリシー」の方針のもと、「組織的連携」、「技術相談」、「学術指導」、web掲載や冊子による「シーズ紹介」、産学連携促進イベントの主催など、産学連携を通じた社会貢献と、東北地域の活性化を促進。震災復興支援・高齢化社会対策では、蓄積した知財の活用により、非破壊放射能測定システム、呼吸抵抗測定装置、足漕ぎ車椅子などの製品化・販売に大きく貢献。
- 東北大学発の新たな大学知財の管理活用方法「パテント・バスケット」を複数の研究拠点で実施。研究成果のうち基盤技術は大学が費用負担し、応用展開技術は参画企業が費用負担して自由に実施できる仕組み。大学が「パテント・バスケット」を一括管理することで、基盤技術の共有化を進め、応用技術については参画企業が効率的に出願することにより、大学、参画企業、共に大きなメリットがある。



足漕ぎ車椅子

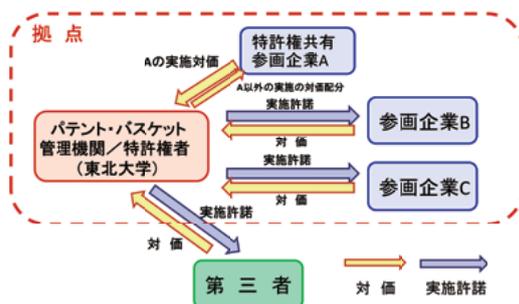
半田康延名誉教授らの成果を(株)TESS
にライセンス、大ヒット商品へ発展



総合呼吸抵抗測定装置
「MostGraph-01」

黒澤一教授とチェスト(株)との共同
研究開発の成果、同社の主力事業へ成長

パテント・バスケットの仕組み



連続個別非破壊放射能測定システム

石巻魚市場や関連企業の協力の下、石井慶造教授らが開発、
(株)千葉鉄工所からシステムとして販売